

北辰小学校長寿命化改良（建築）工事		令和 5年 1月（全81枚）		Ⅱ 特記仕様		2 仮設工事		3 防水改修工事		3 3 アスファルト防水		乾式保護材の材料			
仕様書				I 共通仕様				防水改修工事				防水改修工法の種類			
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修仕様」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。				2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「契約書」を「南魚沼市建設工事請負基準約款（平成16年南魚沼市告示第6号）」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。				3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。 (1) 1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.1.2用語の定義の(7)、(ㄮ)及び(ㄿ) (2) 〃 1.1.5書面の書式及び取扱いの(2) (3) 〃 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2) (4) 〃 1.4.4材料の検査等の(1) (5) 〃 1.7.1工事検査の(2)及び(3)				4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。 1章 1.1.2 用語の定義の(ㄷ) 〃 1.7.2 技術検査			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改修標仕の規定				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
1章 各章共通事項 1節 共通事項				(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (ㄮ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ㄿ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成（約款第32条） ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤必要があると認めたときの臨時検査（約款第50条）				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(2) 1.1.5 書面の様式及び取扱い				(2)書面により行わなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(3) 1.4.2 材料の品質等				(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(7)から(ㄿ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ㄿ)特記により指定された材料又は製造者の製品				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(4) 1.4.4 材料の検査等				(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(ㄿ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
(5) 1.7.1 工事検査				(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
別表（建築改修工事）				防水改修工事				防水改修工法の種類				防水改修工法の種類			
号 項目				置き換え後の改											